

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①生徒の実態と発達の段階を考慮しながら、道徳の授業計画・指導計画を立て、指導方法を工夫して効果的な学習を進めます。 ②人権教育の推進のために職員研修の充実を図り、人権講演会や人権作文に全校で取り組みます。 ③ブロック内の二つの小学校と連携を図りながら、系統性や継続性のある人権教育の推進を図ります。
担当	特活指導部・共生教育指導部

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>○自己肯定感が比較的高く、将来に対して明るい夢や目標を持っている生徒が多い。</p> <p>○人とコミュニケーションをとることが好きで、人の気持ちを考えて行動できる生徒が多い。</p> <p>○行事などへの取り組みを通して、音楽や美術などへの関心がよく育っており、学校生活に情緒的に豊かな雰囲気がある。</p>	<p>生徒一人一人の良さを認めて伸ばし、自分もまわりの人もより大切にできるような温かい心を育てます。生徒一人一人が全力で取組、壁を乗り越えて達成感を味わい自信を持つことが出来るよう支援していきます。</p>
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<p>○「特別の教科 道徳」では、各学年の係を中心に、生徒の実態を見つめながら、適切に特別の教科道徳の指導計画をたて、指導方法を工夫しながら実施する。指導方法について、研修を行う。</p> <p>○教師の支援のもと、本校生徒会活動の3本柱の1つである「歌声活動」を通して協力性やお互いを認め合う力を育成する。「生徒会活動」はもとより「歌声活動」や「体育祭色別活動」などの「異年齢集団活動」をより自主的・意欲的に行うことができるようにする。</p> <p>○体育祭や文化祭の合唱コンクールの中で仲間を思いやる力や、教科学習では取り組みえない体験に自主的にとり組み、達成感などを味わうことができるように指導を行う。</p> <p>○人権作文に全校で取り組む。</p> <p>○毎月教育相談の実施、複数回の教育相談を通して、不適應行動の予防や教師との人間関係の育成を図る。生徒個々の能力や可能性の開発を援助する。</p> <p>○個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実と活用をめざす。学活・行事への取り組み等での交流や音楽等での共同学習を実施する。</p>
下半期	Intentionally left blank for the second half of the plan

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①保健体育科全単元を通して体力向上を図ることに重点をおき、自己の課題解決力を身に付けられるようにします。 ②体力・運動能力調査の結果分析等に基づき「体育・健康プラン」の改善を図ります。 ③保健体育で「学習」したことを基に、自らの健康や安全を自ら守ることのできる生徒の育成を目指します。
担当	保健体育科、健康教育指導部

健やかな体に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>(1) 体育・健康に関する実態 自ら運動に親しむ生徒が多い。運動部や地域のスポーツクラブに所属している生徒も多く、昼休みはグラウンドでボール遊びをしたり体を動かす生徒が多くいる。 昼休みに外に出て体を動かす生徒も多くいる。バランスのとれた食生活、早寝早起きなど、規則正しい生活習慣に対する意識はあるが実践できない生徒もいる。 新体力テストにおいて、多くの生徒が好記録が出るように積極的に取り組む姿が見られる。 自分の好きなこと、得意なことには積極的に取り組む。苦手なこと、嫌いなことについては何とか取り組もうとする姿勢が見られる。</p> <p>(2) 体力の概要と要因の分析 新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均と同等の記録が出ているが、ハンドボール投げについては、下回る学年が多い。「投げる」経験のなさから、投能力が未熟なままと考えられる。ドッチボールなど「投げる」機会をなるべく多くつくっている。</p>	<p>生徒一人ひとりが個性、創造力を最大限に伸長するための自己教育力の育成を目指し、しっかりとした生徒理解にたつた上で、健康で良識のある行動のできる生徒の育成に努める。</p>
	目標を実現するための具体的行動プラン
上半期	<p>○保健体育科で「適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を養う」ことを教科目標とする。全単元を通して体力向上を図ることに重点を置き、その中で自己の課題解決力を身につけさせる。 ○体力向上1校1実践運動に積極的に取り組む。</p>
下半期	